

全国学力・学習状況調査

今年四月に実施した本調査の町立小・中学校の結果をまとめた。県公立学校の平均正答率を基準として、上回っているものと下回っているものを掲載しています。(内容は抜粋)

学力・学習状況調査とは

【対象】

小学6年生、中学3年生

(国語・算数(数学)・英語(中学生のみ))

【調査の目的】

児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証・改善し、学校における児童・生徒の学習指導の充実や改善などに役立てる。

【調査内容】

出題範囲は、全年までの指導事項を原則としている。また、生活習慣や学習意欲、家庭学習などに関する質問調査も行われた。



	小学生		中学生	
	国語	県平均正答率と同程度	国語	県平均正答率より低い傾向
上回り	<ul style="list-style-type: none"> 漢字を文の中で正しく使うこと。 話や文章の種類とその特徴について理解すること。 		<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の働きについて理解すること。 語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること。 	
下回り	<ul style="list-style-type: none"> 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること 		<ul style="list-style-type: none"> 文脈に即して漢字を正しく使用すること。 単語の類別について理解すること。 	
	算数	県平均正答率より低い傾向	数学	県平均正答率より低い傾向
	<ul style="list-style-type: none"> 数を四捨五入して概数で表すこと。 二次元の表から、条件に合う数を読み取ること。 		<ul style="list-style-type: none"> 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。 	
上回り	<ul style="list-style-type: none"> 百分率で表された割合と比較表から、基準量を求めること(例題)。 		<ul style="list-style-type: none"> 同類項の意味を理解すること。 筋道を立てて、証明すること。 	
下回り	<ul style="list-style-type: none"> 百分率で表された割合と比較表から、基準量を求めること(例題)。 		<ul style="list-style-type: none"> 同類項の意味を理解すること。 筋道を立てて、証明すること。 	
問題 一部抜粋	【小学生 算数】 この動物園にはいろいろなカメがいます。そのうちイシガメは14匹います。イシガメの数は動物園全体のカメの数の20%です。この動物園全体にはカメが何匹いますか。求める式とその答えを書きましょう。 【中学生 英語】 中学生になってからの思い出を一つ取り上げ、「体験したこと」と「感想」を15語以上30語以内の英語で書きなさい。 例：学校行事、授業、習い事、趣味、日常の出来事など ◆答えは12月号で掲載します		英語 県平均正答率より低い傾向	
	上回り 下回り		<ul style="list-style-type: none"> 語彙や文法などの知識を話すことにおいて実際のコミュニケーションで活用すること。 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を書くこと(例題)。 	
まとめ	書くことに対して苦手意識を持つ児童が多いことから、身に付けた知識・技能を活用して表現する力を伸ばす必要がある。		協働的な学びのよさを生かしながら、基礎・基本の定着を図るとともに、表現する力を伸ばす必要がある。	

質問調査から

◆小学生

自分にはよいところがあると思っている児童が全国平均を上回っている。

将来の夢や目標を持っている児童が全国平均を下回っている。

◆中学生

友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら問題の解決に取り組んでいる生徒が全国平均を上回っている。

地域や社会をよくするためにかかしてみたいと思う生徒が全国平均を下回っている。

【まとめ】

小・中学校ともに、英語の学習が好きであると回答した児童・生徒が多い結果となった。また、SNSや動画視聴の時間が多い傾向にあるとともに学習時間が短くなる傾向が見られた。今後もICT機器の適切な活用に向けた指導と英語学習のさらなる充実に向けて工夫しながら、将来の夢や目標へとつながられるようにしていく必要がある。